

福島第一原子力発電所の状況

平成26年11月13日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (11/13 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.0 m ³ /h	24.5 °C	3.4 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約2.2 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h	31.1 °C	5.58 kPa g	A系： 0.06 Vol%
		給水系：約2.0 m ³ /h			B系： 0.06 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.5 m ³ /h	29.5 °C	0.21 kPa g	A系： 0.07 Vol%
		給水系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.06 Vol%

<2. 使用済燃料プールの状況> (11/13 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	19.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	18.5 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	16.7 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	15.9 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドへの注水を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	11/13 15:07 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	11/5 16:14 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/13 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- ・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
- 4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
- 7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。

- 8/12～ ドライアイスを追加で投入開始。
- 10/16～11/6 2号機海水配管トレンチ開削ダクトにて間詰め充填工事を実施。
- 10/20～11/2 2号機海水配管トレンチ立坑Aにて間詰め充填工事を実施。
- 今後、間詰めによる止水効果確認を11月中旬を目途に行っていく予定。

- H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
 - 6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
 - 10/3～ 凍土遮水壁造成工事における凍結管設置に伴い、埋設物(トレンチ等)を貫通させて凍結管を設置する箇所を対象に、事前の溜まり水調査を開始。
- H26/10/22 ～10/29 1号機原子炉建屋カバー解体作業における放射性物質の飛散抑制対策の一環として、当該カバー屋根パネルを取り外す前に同パネルに孔をあけ、飛散防止剤を散布する作業を実施。当該作業期間中、各ダストモニタおよびモニタリングポストの指示値に有意な変動はなし。
 - 10/31 オペレーティングフロアの瓦礫調査およびダスト濃度調査等を実施するため、建屋カバー屋根パネル2枚(南3・北3)の取り外し作業を行うこととしており、1枚目(南3)の取り外し作業を実施。
 - 11/10 8:31 屋根パネル2枚目の取り外し(吊降ろし)作業が終了。当該作業期間中において、ダストモニタの濃度及びモニタリングポストの指示値に有意な変動はなし。今後、取り外した屋根パネル(南3・北3)の開口部から、再度、堆積している瓦礫等へ飛散防止剤の散布を行うとともに、空気中のダスト濃度を確認した上でオペレーティングフロアの瓦礫の状況調査等を実施。
- 原子炉圧力容器・原子炉格納容器内の臨界(核分裂反応)を防止する、または未臨界にするために設置している1～3号機のほう酸水注入設備のうち、ほう酸水タンクA、Bについては、アスファルト上に直接設置していた。万が一ほう酸水タンクに漏えいが発生した場合、貯蔵しているほう酸水が地下に浸透する可能性があることから、地下への浸透を防止する対策として、当該タンクに隣接するエリアにコンクリート製の堰(耐薬品性の塗料を塗布)を設置。堰内へのほう酸水タンクA、Bの移設作業が完了したことから、10/15にほう酸水タンクBに移したほう酸水を11/13 11:24に特定原子力施設の保安第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、ほう酸水タンクAへ戻す作業を開始。
- 5号機原子炉冷却材浄化系(以下「CUW」)ポンプ(A)については、原子炉水の浄化及び原子炉水位の調整のため、11/6 13:47頃より運転していたが、11/13 15:19に過負荷トリップが発生。その後、現場を確認したが、漏えい等の異常は確認されていない。今後、CUWポンプ(A)がトリップした原因について調査する。なお、原子炉の冷却は残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)にて行っており、原子炉冷却への影響はない。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。(No.11は藻のような生物を汲み上げた原因調査のため、10/15より停止中)
- 地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日11/3]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、11/12 9:57、海洋への排水を開始。同日10:02に漏えい等の異常がないことを確認。その後、15:52に排水を停止。排水停止状態において異常のないことを確認。排水量は1,499m³。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔サンプリング実績>
 - 11/10に採取した1,2号機ウェルポイント汲み上げ水について、マンガン54および全ベータの分析値が、前回値と比較して高い値で検出され、過去最高値となった。当該汲み上げ水については、測定値の変動が大きい傾向にあることから、再度サンプリングを行うこととしていた。
 - <11/10採取分>
 - マンガン 54:54 Bq/L[前回分析値(11/3採取):5.0 Bq/L]
 - 全ベータ :210万 Bq/L[前回分析値(11/3採取):23万 Bq/L]

再度サンプリングを行ったところ、マンガン54については、前回54 Bq/L(採取日11/10)であったが、今回の分析値

は 110 Bq/L で、過去最大値となった。

また、セシウム 134 については、前回値が検出限界値 (4.2 Bq/L) 未満 (採取日 11/10) であったが、今回の分析値は 920Bq/L、セシウム 137 についても、前回値が 9Bq/L (採取日 11/10) であったが、今回の分析値は 3,000Bq/L で、前回値と比較し 10 倍以上の変動であり、過去最大値となった。

その他の核種ならびに周辺の観測孔において変動がないか現在確認中。

<11/13 採取分>

- ・マンガン 54:110Bq/L〔前回分析値 (11/10 採取) : 54 Bq/L〕
- ・セシウム 134:920Bq/L〔前回分析値 (11/10 採取) : 検出限界値 (4.2 Bq/L) 未満〕
- ・セシウム 137:3,000Bq/L〔前回分析値 (11/10 採取) : 9Bq/L〕

<参考:過去最高値>

- ・マンガン 54:54Bq/L (H26/11/10 採取分)
- ・セシウム 134:110 Bq/L (H25/9/23 採取分)
- ・セシウム 137:250 Bq/L (H25/9/23 採取分)
- ・全ベータ :210 万 Bq/L (H26/11/10 採取分)

【1～4号機サブドレンの状況】

- ・10/18～ サブドレン他水処理施設については、一部のサブドレンピットを使用して、H26/8/12 より安定稼働に向けた浄化性能確認試験等を開始しているが、残りのサブドレンピット 28 箇所を加え、計 42 箇所 (実際はトリチウム濃度の高い No.1, N14 を除く 40 箇所) について、系統運転試験 (STEP3-2) のための地下水のくみ上げを開始。
- ・10/24～ 地下水ドレンピットを使用して、使用前検査のための地下水のくみ上げを開始。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上